



山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和6年4月9日発行

第2号 校長 武藤 雅雄

前期始業式 校長講話 武藤 雅雄 (抜粋)

新年度は進級やクラス替え、友達関係など、いろいろなことが変わります。皆さんは今日、「こんな1年にしたい」という目標や決意をもってきたと思います。そこで、新たな気持ちで4月をスタートするため、「2つのRと3つのC」について話をします。



私たちは、過去を変えることはできません。しかし、気持ちを切り替えることはできます。それが1つ目の「R」リセットです。気持ちを切り替えて新たにスタートする。それが2つ目の「R」リスタートです。



次に3つのCです。1つ目は「C」チャンスです。チャンスはみんなに平等にやってきます。チャンスを逃さずにつかみ取ろうと行動すること、それが2つ目の「C」チャレンジです。チャレンジすることで、自分にプラスの変化が現れます。それが成長です。プラスに成長することが3つ目の「C」チェンジです。

まとめ 令和6年度が始まる!

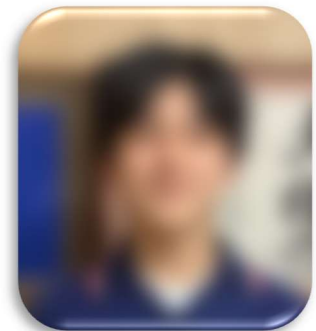
- 1 過去をリセット
- 2 今日からリスタート
- 3 チャンスを逃さず
- 4 チャレンジして
- 5 プラスにチェンジ

山中生に期待する姿は「主役は生徒」「山中生でよかったと言える学校づくり」「後輩の手本となるカッコいい先輩」の3つです。入学式では、期待と不安が入り混じる新入生を、温かく迎えてください。皆さんが、笑顔で元気に生活し、山中魂「正義・勇気・土根性」の心で、山中の新たな伝統と歴史を積み上げていくことを期待しています。

始業式 生徒代表 新年度の抱負 2年生 川辺 (抜粋)

僕の2年生での目標は2つあります。

1つ目は明確な目標を立てて生活することです。1年生になったばかりの頃は、部活動や勉強に、はっきりしたノルマがない状態で生活していました。しかし、後期に入ってから、その日その日や一定期間での目標をつくり、その達成を目指して活動するようになりました。それによって、自分の得意・不得意がはっきりしたり、



裏面に続きます

学んだことが身につくやすくなったりしました。しかし、時間の関係でその目標が達成できないこともあります。そのようなことを防ぐために、僕は2つ目の目標を立てました。

2つ目は計画力を上げることです。中学生になってから、夏休みや冬休みの計画以外に、テスト期間中の計画を作ることになりました。最初の頃は、余裕のある計画を作ることができましたが、部活動や係・委員会の仕事でだんだん計画通りに実行することが厳しくなっていました。その経験から、テスト期間などだけでなく、日頃から計画性をもって生活することが大切だと思いました。そして、1つ目の目標の課題であった時間の管理を、計画力を使ってクリアしていきたいです。

日頃から計画を立てて生活するようにしています。しかし、まだ全体を見通した計画にできていなかったり、計画通りに実行する力が弱かったりするので、そこをしっかりと改善していきたいです。僕たちは今日から2年生に進級して先輩になります。中堅学年として、後輩の手本となり、3年生を支える2年生になれるよう、精一杯がんばります。

3年生 大戸 (抜粹)

私が今年度がんばりたいことは、学校生活での凡事徹底です。凡事徹底とは、当たり前のことを徹底して行うことです。気持ちよく学校生活を送るためには、小さいことから気をつける必要があります。そのために、「あじみこ+そ」への意識を高めようと思います。あいさつは大きな声で、時間は5分前行動を心がけて、身だしなみは正しい服装か確認し、言葉遣いは敬語をしっかりと使い分け、プラスワンは自分の仕事でなくても率先して行い、掃除は学校をきれいにするためにすみずみまで掃除します。生徒会本部役員の活動もあるので、視野を広くしながら凡事徹底をしていきます。



次に勉強と部活動の両立です。今までは年に4回の定期テストに向けての勉強と、7月から行われる吹奏楽コンクールに向けての練習でよかったので、余裕がありました。しかし、今年はそうはいきません。3年生となり、勉強も部活動も忙しくなります。勉強面では受験勉強が始まり、定期テストに加えて模試が行われたり、前期の成績によって進学する高校のことも考えたりするので気を抜けません。毎日の勉強時間を決めて、少しずつでも勉強し、確実に点数を取れるようにしていきます。

部活動は人数が少なくなり、大会に向けて不安なことがたくさんあります。私は部長として、部員を引っ張っていく必要があります。幹部の3人と協力して不安な要素をなくしていき、最高の部活動をつくっていかうと思います。勉強と部活動で意識することがたくさんあるので、しっかり切り替えをして、両立できるように気を抜かずに頑張ります。